

九州女子大学
家政学部 栄養学科

令和2年度 社会人入学試験Ⅰ期
小論文

九州女子大学 家政学部 栄養学科
令和2年度 社会人入学試験 I 期 小論文 試験問題

「健康日本 21（第二次）」とは、国民の健康の増進について総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、2013年度から2022年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動」を推進するものである。問1～3に答えなさい。

問1 下記の文章は「厚生労働省 健康日本 21（第2次）」からの抜粋である。文章中の [1] ～ [10] に当てはまるもっとも適切なものを、解答群から一つずつ選び、番号で答えなさい。

我が国における高齢化の進展及び疾病構造の変化を踏まえ、[1] 病の予防、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上等により、[2]（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸を実現する。

エネルギーについては、摂取量及び [3] のバランスの維持を示す指標として、新たに [4]（体格指数）を採用した。

食生活指針について、肥満予防に加えて若年女性の [5]，高齢者の [6] を予防する観点から、「適度な運動とバランスのよい食事で、[7] の維持を図ること。さらに、高齢化に伴う機能の低下を遅らせるためには、認知機能低下及び [8]（運動器症候群）の予防とともに、良好な栄養状態の維持、身体活動量の増加及び就業等の社会参加の促進を目標とし、高齢者（70歳以上）の [9]（加齢による心身の衰え）や [10]（加齢による筋力の低下）予防と栄養の関係について記されている。

解答群

- | | | | |
|------------|-------------------|----------|-------------|
| [1] 摂取量 | [2] 消費量 | [3] 適正体重 | [4] 肥満 |
| [5] サルコペニア | [6] 生活習慣 | [7] 平均寿命 | [8] 健康寿命 |
| [9] やせ | [10] ロコモティブシンドローム | [11] 低栄養 | |
| [12] 高栄養 | [13] BMI | [14] QOL | [15] フレイルティ |

問2 図1は、平成29年度国民健康・栄養調査における「やせの者の割合（女性）の年次推移」を示したものである。図1を見て、各年代別に体格の推移の特徴を変化率も加味して200字以内で説明しなさい。

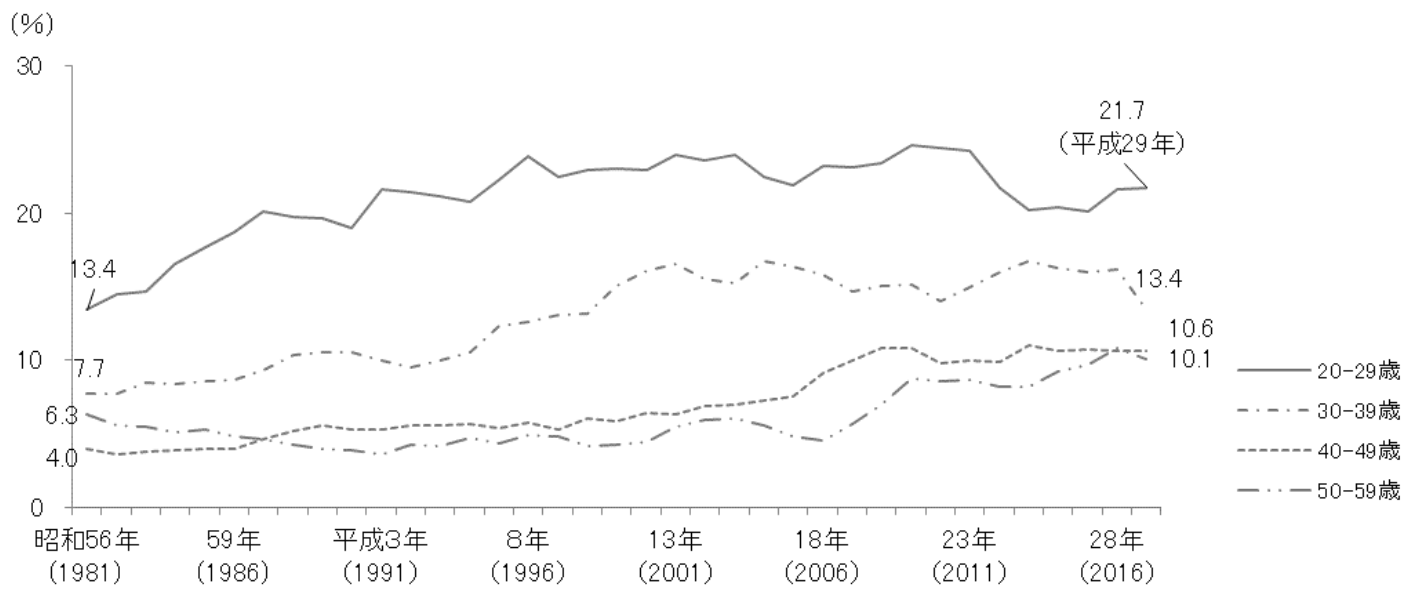


図1 やせの者 (BMI < 18.5 kg/m²) の割合の年次推移 (20~59 歳, 女性)
厚生労働省:平成 29 年度 国民健康・栄養調査より作図

問3 図2は、平成29年度国民健康・栄養調査における「目標とするBMIの範囲の分布 (20歳以上・女性・年齢階級別)」の結果を示したものである。図2を見て、年齢階級別の傾向を問題点となる背景を加味して300字以内で説明しなさい。

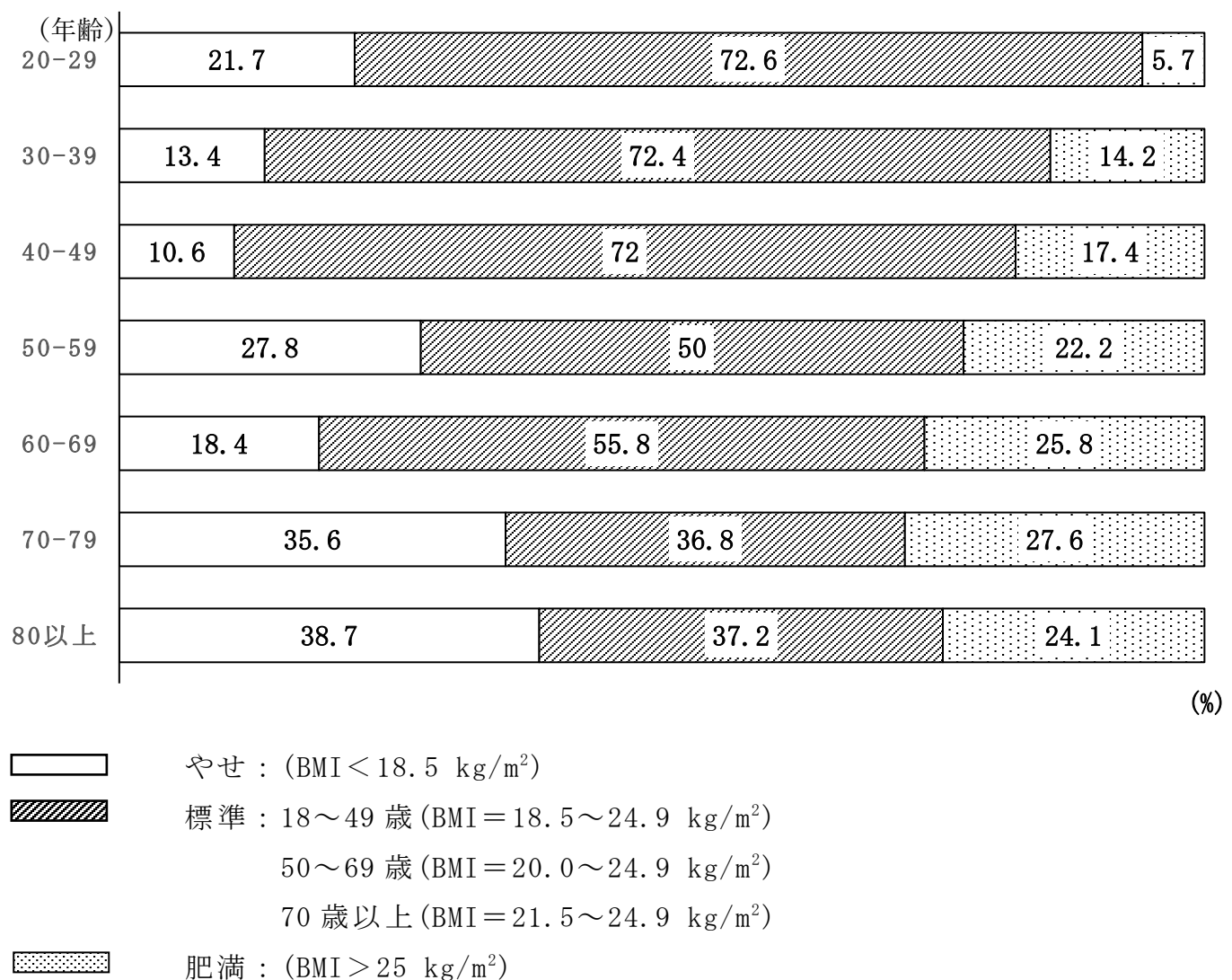


図2 目標とするBMIの範囲の分布 (20歳以上, 女性・年齢階級別)
厚生労働省:平成 29 年度 国民健康・栄養調査結果より作図

